昨年８月の大雨による福祉・介護施設の避難対応に関する一般質問のポイントと質疑応答

1 質問の背景・問題意識

- 昨年８月の大雨により、市内では河川の増水や土砂災害の危険が高まり、複数の地域で避難指示が発令された。
- 高齢者や障がいのある方が利用する福祉・介護施設は、避難に時間を要し、支援が必要な方が多く、迅速で的確な対応が求められる。
- 一部の施設では避難が必要となったが、対応に課題が見られたとの声もあった。

有事の際に、利用者の命と安全を守るための体制強化が不可欠である。

2 質問の主な内容（ポイント）

① 避難計画の策定状況
- 市内の福祉・介護施設における避難確保計画の策定状況と内容について。

② 避難の実施状況
- 昨年８月の大雨時における避難の判断、発令、実際の避難の有無と対応状況について。

③ 避難支援体制
- 避難に際しての市の支援体制、職員派遣、関係機関との連携について。

④ 課題と今後の対策
- 今回の対応で明らかになった課題と、今後の改善・強化策について。

3 大雨時の福祉・介護施設の避難イメージ図



4 一般質問における質疑応答の主な内容

① 避難計画の策定状況

Q 市内の福祉・介護施設において、避難確保計画はどの程度策定されているのか。また、計画の内容や見直しは行われているのか。

A 市内の対象施設については、概ね計画が策定されている。計画には、避難先、避難方法、要支援者の確認などを記載しており、定期的な見直しを施設に求めている。

② 避難の実施状況

Q 昨年8月の大雨時に、避難が必要となった施設はあったのか。また、実際の避難の判断や対応状況について伺う。

A 一部の施設で避難指示の対象となり、利用者の状況に応じて避難を実施した。市は県や関係機関と連携し、情報提供や避難先の調整を行った。

③ 避難支援体制

Q 避難に際して、市はどのような支援を行ったのか。職員の派遣や車両の確保など、具体的な対応について伺う。

A 避難の必要がある施設に対し、職員の派遣や車両の手配、避難先との調整などを行った。今後も関係機関と連携し、支援体制の強化に努める。

④ 課題と今後の対策

Q 今回の対応で明らかになった課題は何か。今後、どのように改善・強化していくのか。

A 情報伝達の迅速化、夜間・休日の対応、避難先の確保、職員体制の強化などの課題があった。今後は、計画の実効性向上、訓練の実施、関係機関との連携強化などに取り組んでいく。

5 避難対応の具体的な流れ（イメージ）

① 情報収集
- 気象情報、河川水位
- 避難情報の発令
- 市からの情報提供



② 判断・連絡
- 施設での避難判断
- 市・関係機関へ連絡
- 職員の参集



③ 避難準備
- 利用者の状態確認
- 避難先の確認
- 必要な備品の準備（薬・医療機器等）



④ 避難実施
- 車両等で安全に避難
- 市の支援（職員派遣等）
- 避難先での受入れ



⑤ 避難後の対応
- 安否確認
- 継続的な情報収集
- 生活支援
- 施設の再開時期の調整



6 明らかになった主な課題

- 情報伝達の遅れや混乱
- 夜間・休日の対応体制の不足
- 避難先の確保や調整の難しさ
- 職員不足・負担の増大
- 個別の支援が必要な利用者への対応
- 関係機関との連携の課題

今後の改善・強化策

- 避難計画の実効性向上と定期的な見直し
- 避難訓練の実施
- 情報伝達手段の多重化・迅速化
- 避難先の事前調整・協定の拡充
- 職員の確保・負担軽減策
- 関係機関との連携強化

7 議員からの主な提言・要望

- 福祉・介護施設の避難計画の実効性を高めること。
- 定期的な避難訓練の実施と、計画の見直しを行うこと。
- 情報伝達の迅速化と、関係機関との連携強化を図ること。
- 職員の負担軽減と、心のケアを含めた支援体制を整備すること。
- 今回の教訓を踏まえ、毎年の防災計画に反映し、想定外をなくす意識で取り組むこと。

高齢者や障がいのある方の命と安全を守るため、平時からの備えと実効性のある対応が重要！